

平和をつくり出す宗教者ネットが開いた院内集会―17日、国会内



武器輸出反対 宗教者・市民ら集会

「死の商人」にさせぬ

政府が武器輸出の推進にかじを切る中、宗教者や市民団体らが17日、国会内で集会を開きました。主催は「平和をつくり出す宗教者ネット」です。30人が参加しました。

日本キリスト教協議会総幹事の金性済（キム・ソンジェ）さんがあいさつ。国際法を踏み越えて、武器を供給する「死の商人」を潤すことは、ジェノサイド（集団殺害）に加担することになると批判。『死の商人国家』

にならないためにも足元で何が起きているのかを知る機会にした」と話しました。

武器取引反対ネットワーク（NAJAT）代表の杉原浩司さんが

「日本を『死の商人国家』に墮落させてはならない」と題して講演しました。

政府が地上の標的を自動飛行して攻撃するイスラエル製の小型無人攻撃機（攻撃型ドローン）の導入にかじを切ろうとしていることについて言及。イスラ

エル軍がパレスチナ・ガザ地区への攻撃で使用する主力兵器だとし、「日本もジェノサイドに加担してしまふことになる」と指摘しました。

来月、東京都内で開かれる「国際航空宇宙展」にはイスラエル最大の軍需企業も出展することになれば、「戦争放棄を掲げた憲法9条をもつ日本で武器見本市を開き、『死の商人』に商機を与えることは許されない」と批判しました。